

2024 年度歴史地震研究会 第 3 回幹事会議事録

場所: オンライン会議

日時: 2025 年 5 月 16 日 (木) 17:00~18:40

出席者: 佐竹(会長), 蝦名(副会長), 塩川(行事), 石辺(財政), 加納(編集出版), 室谷(広報), 諸井(監査), 植竹(監査), 大邑(総務)

1. 入退会者の承認及び 2023 年度 2024 年度会費受取状況(2024 年 12 月 10 日~2025 年 5 月 14 日)(財政)

- ✓ 新規入会者 6 名, 2024 年度末退会者 3 名, 2024 年度末休会者 0 名, 休会・除名からの復活 1 名, 2023 年度会員特典停止からの復活 0 名 →承認(現会員総数 251 名)
- ✓ 登録内容変更 14 名
- ✓ 退会申請者も年度内は会員としてカウントされる
- ✓ 復活 1 名については 5 年分の会費が連絡なく振り込まれた
- ✓ 除名後の復会に関する規約の扱いなど当該会員に連絡し確認する
- ✓ 入会申請書および会員情報変更届の記入例が長いことについて書式の改善をおこなう
- ✓ 2023 年度会費受取状況 255 名(前回から 1 名増加)
- ✓ 2024 年度会費 208 名(未納 43 名), 2025 年度会費 7 名
- ✓ 未納会員への督促状をメール添付で送付する
- ✓ 会誌『歴史地震』40 号送付の都合上、6 月末までの振込を促す
- ✓ 7 月以降の納入かつ会誌送付希望者には送料負担を依頼する

2. 「歴史地震」40 号の編集について(編集出版)

- ✓ 論説 9 本、資料 6 本、報告 2 本、要旨 24 本の構成で、総ページ数は 186 ページを予定
- ✓ 論説 1 本が取り下げ、資料 1 本が取り下げまたは次号への持ち越しとなった
- ✓ 今後の作業: 6 月第 1 週までに論説、資料、報告の著者校正を完了, 6 月上旬に講演要旨の著者校正を完了, 6 月 13 日(金)に前田印刷へ入稿予定, 6 月 24 日(火)~7 月 8 日(火)にグラチェックを実施, 7 月末に発送予定
- ✓ 印刷の見積もりは前田印刷から 845,966 円であった(総ページ数 200 ページ、発行部数 450 部、カラー口絵 5 ページを含む)
- ✓ 今年度も前田印刷に発注することが承認された
- ✓ 会員への会誌送付時の挨拶文・払込票の同封について、親書扱いを避けるため、会誌への会費納入依頼文の同封は行わない方針に転換し、メールでの案内を検討する
- ✓ 会費払込票は例年通り財政幹事(石辺)に郵便局で印刷・前田印刷へ届けることを依頼した
- ✓ 発行部数については、昨年度同様の算出式(会員送付数+図書館等送付数+著者贈呈用+保管分)で決定することに合意した
- ✓ 保管分が多すぎる可能性があり発行部数決定時に減らすことを検討
- ✓ 著者購入分については部数を確認し 1 冊あたり 1,500 円(バックナンバー代)と送料を著者負担とすることが確認された

3. 2025 年豊岡大会について(行事)

- ✓ 第 42 回歴史地震研究会は豊岡大会として 2025 年 9 月 27 日(土)~29 日(月)に兵庫県豊岡市の芸術文化観光専門職大学で開催される(前回から日程変更)
- ✓ 会場費は不要である
- ✓ 大会参加費は、会員は千円または二千元、学生料金の設定も検討する
- ✓ 公開講座は「北但大震災百年」をテーマに、初日(9 月 27 日) 15:00~17:00 に 3 名の登壇を予定
- ✓ 講師の謝金について確認(会員・公務員は謝金なし)

- ✓ 懇親会は9月27日(土)18:00~20:00 にアールベルアンジェ豊岡で開催
- ✓ 料金はビュッフェ形式、飲み放題付きで6,500円とすることが承認された
- ✓ 学生料金を別途設定する案が提案された(4,000円程度)
- ✓ 巡検は9月29日(月)9:00~15:00 に実施される
- ✓ ルートは豊岡駅、復興建築群、北淡大震災記念碑、城崎温泉(慰霊塔など)、出石町(昼食は各自)
- ✓ 貸し切りバスの費用は91,700円(駐車場代込)
- ✓ 巡検代は、受付の煩雑さを避けるため、食事なしで一人3,000円とすることが承認された
- ✓ 運営体制として、公開講座終了後の誘導、懇親会の受付・司会進行、会場設営・片付けのためのアルバイト雇用が必要となる
- ✓ 消耗品購入の際は財政幹事へ連絡する
- ✓ 講演申し込みは現在8件である
- ✓ 発表には会費納入が必要であり未納者には確認を促す
- ✓ 功績賞の授与は、初日(9月27日)の研究発表の最後に実施する
- ✓ 豊岡市や芸術文化観光専門職大学への共催依頼(市の広報誌や大学の宣伝活用を含む)を検討する
- ✓ 公開講座の広報も強化する

4. 広報活動について(広報)

- ✓ メーリングリストの管理を継続
- ✓ ホームページの更新は大会情報の更新ほか
- ✓ 第39号のPDFファイルと目次データはまだウェブ公開されていない
- ✓ webmaster宛メールへの対応2件(講演依頼を会員へ周知、NHK徳島放送局からの紹介に対し会員を紹介)
- ✓ 大会広報として、各関連学会・団体への豊岡大会開催案内を実施した
- ✓ 引き続きメーリングリストの管理、研究会ページの更新、入会申請書等の諸手続き関連ファイルの更新を行う

5. 2026年高知大会について

- ✓ 水松会員が行事委員長を内諾した
- ✓ 主な開催候補地は高知城ホールであったが見積もり費用が高額であることが指摘された
- ✓ 見積もりが3日間利用であったため2日間で再度見積もりを取り直す
- ✓ ポスター発表用の備品(パーティションなど)の有無を会場に確認する
- ✓ 高知大手ピア図書館での開催(研究会)と高知城ホールでの懇親会という分科開催案も検討されたが、金額を考慮しても高知城ホールでの開催が選択肢から外れるわけではないことが確認された
- ✓ 開催日程は会場側の都合により9月4日(金)~7日(月)のうちのいずれか3日間となる可能性が高い
- ✓ 日程の決定にあたっては、参加者の交通の便(飛行機など)も考慮する
- ✓ 高知コンベンション協会の助成金活用について申請を検討(宿泊数の把握が必要)
- ✓ 巡検ルートについては須崎方面も候補として挙がったが、交通の便も考慮して検討を継続

6. その他

- ✓ 役員の任期について現行の1年任期は他学会と比較して短い(2年任期が多い)ことが指摘された
- ✓ 会長の任期が規約で1年と定められているため、2年任期に変更するには規約改正(総会での承認)が必要
- ✓ 総会委任状受付におけるGoogleフォームの活用について現在メールでのやり取りだが、Googleフォームを導入することで簡略化が可能と提案された
- ✓ 規約上「電磁的方法」が認められているため、導入可能である
- ✓ ただしアクセスが制限される場合があるため郵送での受付も選択肢として残す方針とする

- ✓ 研究会用の Google アカウントが過去に作成されており、これを使用する予定
- ✓ 新規入会者への会誌送付方法の変更について現在レターパックライト（430 円）で送付している会誌を、より安価なクリックポスト（185 円）へ移行することを検討する
- ✓ クリックポストはクレジット決済となるため、総務幹事が建て替え払いし、後日精算する形となるが、会計上問題ないことを確認した
- ✓ 次回幹事会は 6 月分と 8 月分の日程調整をまとめて実施する
- ✓ 6 月上旬に大会プログラムを組むため 6 月中旬に幹事会開催
- ✓ 8 月は会計年度締めと総会資料作成のため 8 月にも幹事会開催

○次回幹事会は 2025 年 6 月および 8 月頃の予定（オンライン開催）

以上